

2008.11

発行 山形県立小国高等学校 Vol. 44

小国高校 ジャーナル

地域文化学

中間発表会

www.ygt-oguni-h.ed.jp

10月7日（火）1年生が取り組む「地域文化学」の中間発表会が行われました。

7テーマ、全11班がこれまでの活動の経緯や成果、課題などについて発表しました。2つの会場に分かれ、それぞれ大学の指導教官の先生方より助言をいただきました。それをもとに来月の本発表に向けて、内容をさらに充実させていきます。



これまで、それぞれの班が大学の指導教官と校内の担当者からの指導に基づいて調査研究を展開してきました。今回、他の班の研究活動の様子に触れることができ、視野が広がるきっかけとなったことと思います。また、どの班もこの中間発表に向けて連日遅くまで残って準備をしていたようです。「まとめる」「発表する」という共同作業を通じて、協調性や責任感などを培って欲しいものです。



東北芸術工科大学
東北文化センター：菊地和博先生

発表後には、担当の大学の先生から発表方法やレポートについて講評と助言を頂いていた班もありました。アドバイスを生かしながら、研究発表会に向け各班最終のまとめに入ります。

11月11日（火）に研究発表会を開催いたします。

県内大学等合同説明会

10月8日(水) 大学コンソーシアムやまがたが主催する県内の大学等の説明会が本校を会場に行われ

ました。1・2年生は人生設計を視野に入れた上級学校選択への手がかりとし、3年生は希望先の情報を得ることでより良い進路選択の参考とする事を目的とした事業です。真剣に話を聞く参加生徒からは質問が出る場面もありました。



参加校および出席者(順不同)

県立保健医療大学	教務学生課長 神尾 秀行 氏
県立産業技術短期大学校	教務学生主幹 阿部 茂夫 氏
羽陽学園短期大学	准教授 柏倉 弘和 氏
山形短期大学	教授 深瀬 嘉子 氏
県立米沢女子短期大学	企画専門員 土屋 淳二 氏
	主査 櫻井 真喜 氏
山形大学	EM室員 渡部 明 氏

フラワーポット設置作業

10月2日(木) 60周年記念事業の一つ、通学路沿道を花で飾る取り組み「花回廊おぐに」が行われました。彩り豊かな3色の花を植えたフラワーポットが全校生徒の手で丁寧に通学路に運び飾られました。

町の潤いの一役を担えればとの思いで、夏の種まきから丹精込めて育てたマリーゴールドと日々草です。

ぜひ一度ご覧下さい。



芸術鑑賞

10月6日(月)の5・6校時目、本校体育館で芸術鑑賞が実施されました。今年度は劇団マグネットワールドによる「地雷探知犬ニーナ」という演目の演劇公演です。舞台は戦争の爪痕としての対人地雷が無数に埋まっているカンボジア。それらをボランティアで撤去しようとしている人々と相棒の地雷探知犬たちが織りなす物語です。

戦争の醜さや悲惨さ、平和のありがたみや家族愛、多くのものを私たちに問いかける迫力ある演劇でした。生徒ひとりひとりがそれらを考え、実感して日々を生活して欲しいと強く思いました。

